

表千家北山会館 特別展

千宗旦三百五十年遠忌記念 **元伯宗旦展**

～残された手紙にみる生涯と茶の湯～

2007年10月6日(土) ～ 12月20日(木)

開館時間 9:30～16:30 (入館は16:00まで)

毎月曜休館 (10/8開館・翌10/9休館)

主 催：表千家北山会館

後 援：京都新聞社・京都府・京都市・
京都府教育委員会・京都市教育委員会・
NHK 京都放送局

～ 館 内 の ご 案 内 ～

□ 3 階 特 別 展 展 示 会 場

□ 2 階 展 示 室 ・ 立 札 席
呈 茶 席

□ 1 階 受 付 ・ 休 憩 所 (喫煙コーナー) ・ 電 話

□ 地 階 清 友 ホール <ビデオ上映 約 35 分>
「元伯宗旦文書をめぐって」

熊倉功夫氏・千宗員若宗匠・久田宗也宗匠による手紙の紹介

上映時間 10:00～ 繰り返し上映 (15:50 終了)

※ 尚、10/13・10/27・10/31・11/10・11/24・11/28・12/8は
ビデオ上映がございません。予めご了承ください。

※ 展示品の写真撮影はご遠慮ください。

元伯宗旦文書（3階展示会場）

1. 交 流

大徳寺衆

宗旦と大徳寺衆	（承応 3 年）8 月晦日付	千宗左宛〈文書 No.203〉
清巖宗渭書状 千宗旦宛	年不詳 4 月 12 日付	参考出品
沢庵宗彭の上洛	正保元年 10 月 15 日付	千宗佐宛〈文書 No.118〉
江月宗玩没する	寛永 20 年 10 月 16 日付	千宗佐宛〈文書 No.104〉
天室宗竺、大源庵に三畳半の茶室をつくる	慶安 2 年 11 月 14 日付	千宗左宛〈文書 No.156〉
玉舟宗璠、一畳床なしの茶室をつくる	同 上	
江岑宗左筆 茶会記「万治二年より茶之湯覚」	万治 2 年 4 月 21 日	参考出品
江岑宗左筆 茶会記「巳ノ閏六月より茶之湯之覚」	承応 2 年 7 月 13 日	参考出品

禁裏・公家

東福門院より歌仙の縫絵を拝領	慶安 3 年 9 月 27 日付	宗左・玄室宛〈文書 No.175〉
近衛信尋を茶に招く	寛永 10 年 10 月 25 日付	宗受宛〈文書 No. 15-1〉
宗旦書状 小早川主膳宛	年不詳 4 月 10 日付	陽明文庫蔵 特別出品
後水尾天皇勘返 近衛信尋公書状		陽明文庫蔵 特別出品
北山の長老 鳳林承章	承応 3 年 9 月 9 日付	千宗左宛〈文書 No.211〉
鳳林承章書状 千宗左宛	年不詳 8 月 2 日付	参考出品

大名・武士

織田三五郎の病状を気遣う	慶安 3 年閏 10 月 20 日付	宗左・玄室宛〈文書 No.177〉
永井尚政の茶に招かれる	承応元年 4 月 24 日付	千宗左・玄室宛〈文書 No.189〉
永井尚政書状 宗旦宛	年不詳 9 月 22 日付	参考出品
片桐石州の茶に招かれる	正保 2 年 10 月 7 日付	千宗佐宛〈文書 No.124〉
板倉重宗、大脇差の建水を所望	寛永 11 年正月 10 日付	宗受宛〈文書 No. 19〉

町 衆

後藤少斎より二十両をもらう	正保 3 年 5 月 18 日付	千宗左宛〈文書 No.136〉
本阿弥光悦、宗旦の屋敷売却を斡旋する	寛永 10 年 10 月 25 日付	宗受宛〈文書 No. 15-2〉

弟子衆

山田宗徧、三州吉田の小笠原家に仕官	承応 3 年 10 月 20 日付	千宗左宛〈文書 No.212〉
江岑宗左筆 「弟子衆控」		参考出品

2. 茶の湯

茶 会

不審菴での茶会	江岑宗左筆 茶会記「申ノ茶湯ニ逢申候覚」 正保 2 年 3 月 25 日	参考出品
隠居所の四畳半での茶会	江岑宗左筆 茶会記「茶湯参候覚」 慶安 3 年 3 月 1 日昼	参考出品
茶の湯、一世のおもしろさ	(慶安 3 年) 月日不詳	千宗左宛〈文書 No.165〉

美意識

振舞きれいに物すくなくに	寛永 20 年 9 月 24 日付	千宗佐宛〈文書 No.100〉
茶の湯は正直に	慶安 2 年 10 月 8 日付	宗左宛〈文書 No.148〉
宗旦のわび	(慶安 3 年) 月日不詳	宗左・玄室宛〈文書 No.179〉

茶 室

一畳半床なしの茶室	寛永 10 年 8 月 16 日付	宗受宛〈文書 No. 11〉
四畳半の茶室	正保元年 2 月 3 日付	千宗佐宛〈文書 No.112〉
宗旦の隠居所	正保 3 年 8 月 23 日付	千宗佐宛〈文書 No.142〉

3. 家 族（千宗旦の 4 人の子息と 妻 宗見）

江岑宗左（三男 表千家）

仕官先をめぐって	寛永 10 年正月 24 日付	十三郎宛〈文書 No. 1〉
唐津城主の寺沢家に仕官	寛永 10 年 2 月 12 日付	十三郎宛〈文書 No. 2〉
名物道具の由来と所在	寛永 10 年 4 月 27 日付	宗受宛〈文書 No. 7〉
紀州徳川家に仕官	寛永 18 年 12 月晦日付	宗佐宛〈文書 No. 81〉
家督を相続 「宗旦筆 家屋敷譲り状」	正保 3 年 4 月 13 日付	千宗佐宛

閑翁宗拙（長男）

宗旦、宗拙の身を案じる	寛永 17 年 6 月 16 日付	宗拙宛〈文書 No. 59〉
宗旦に勘当される	寛永 18 年 8 月 21 日付	千宗佐宛〈文書 No. 72〉
宗拙勘当の逸話 「覚々斎筆聞書」		参考出品
宗拙死去	承応元年 5 月 17 日付	千宗左・玄室宛〈文書 No.190〉

一翁宗守（二男 武者小路千家）

蒔絵屋甚右衛門	寛永 19 年 3 月 11 日付	宗佐宛〈文書 No. 86〉
法躰して宗守となる	慶安 2 年 12 月 16 日付	千宗左宛〈文書 No.162〉

仙叟宗室（四男 裏千家）

野間玄琢の弟子となり医者立志す	寛永 18 年月日不詳	宛名なし〈文書 No. 71〉
野間玄琢没する	正保 2 年 11 月 27 日付	千宗左宛〈文書 No.127〉
加賀前田家に仕官	承応元年 7 月 4 日付	千宗左宛〈文書 No.194〉
宗旦筆「又隠」の二字		参考出品

真巖宗見（妻 宗左・宗室の母）

宗旦と宗見	正保 3 年 7 月晦日付	千宗左宛〈文書 No.140〉
江岑より口切の祝いが届く 宗見文書	年不詳(11 月)14 日付	宗左宛
宗巴(随流斎)とおやつ 宗見文書	年月不詳 12 日付	宗左宛

4. 生 活 経 済

銀子借用状	(寛永 6 年)月日不詳	宛名なし〈文書 No. 97〉
借用状	参考 写真パネルにて揭示	
沢庵和尚讃の掛物を売却	寛永 18 年 12 月 13 日付	宗左宛〈文書 No. 80〉

健 康

唐人医師の韃南より薬をもらう	寛永 10 年 7 月 28 日付	宗受宛〈文書 No. 9〉
江岑宗左書状案文 韃南宛	年月日不詳	参考出品
宗旦の病	年月日不詳	宛名なし〈文書 No.102〉
四十年以来の健在ぶり	承応 3 年 12 月 21 日付	千宗左宛〈文書 No.217〉

江戸下向

江戸へ下る	(寛永 12 年㌾13 年)月日不詳	宛名なし〈文書 No. 34〉
-------	--------------------	-----------------

宗旦八十歳

宗旦八十歳の手紙	年不詳 8 月 13 日付	千宗左宛
----------	---------------	------

※ 参考出品 「大徳寺和尚方 宗旦、江岑宛書状貼付屏風」は 2 階展示室にて展示

* 今回は文書史料展のため、この目録には宗旦文書および関連文書史料のみの掲載とさせていただきます。あしからずご了承ください。